ひのっこきょういく

日野市教育広報
第113号

■平成29年1月27日発行
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 TEL.042-585-1111(代)

発行　日野市教育委員会（編集 教育部学校課）

教育目標
ひらこう世界へ
のびようともに
つくろう夢を
こえよう自分を

紙面から

米田教育長年頭所感、プレゼン大会 …… 1
ブリティッシュ、ひのっ子がんばってます、他 … 2
日野市教育センター活動報告・調査研究事業の発表会、他・3
見たい!聞きたい!作家の素顔初野晴さん講演会、他・4

年頭所感

ともに

日野市教育委員会教育長
米田　裕治

子供たちの日常が、知恵を出し合いみんなで行動する楽しさにあふれている。

みんなで力を合わせればどんなことにでも前に進める、そんな実感にあふれたひのっ子の毎日。

そんな日常を実現したいと願い、たいせつにしていることがあります。

ひとつは「すべての子供たちが参加でき、知恵を出し合えるユニバーサルな環境」を創っていくことです。もうひとつは「ひとは実に多様な存在であることを実感できる環境。そして多様な存在を受け止めあう営みにあふれている環境」です。

多様な一人一人が自分の中にそれぞれの安心のベースキャンプがあり、そこからいろんなチャレンジがはじまっていく。人と人がかかわり合っていく中で、新たなものがうまれていく。それは遊びであっても、運動の世界であっても、学びの世界であっても。

そして自分らしさがかかわりの中でよりよきものに向かっていくことをめざしています。

私たちは子供たちの力を信じています。子供たちが知恵を出し合ってうまれる「英知の交響体」に私たちは信頼感を持っています。

私たちの子供たちは、「多様な地域の人達が、多様な知恵を持ち寄って解決策を見つけ、共に行動する時代」を生きていきます。

子供たちに育みたい力、めざすべき志を大きく持っていまして、「地球規模の共生力」であったり、「地球規模の創造力」であったり。その基礎や素地になるものをひのっ子に、と願っています。

毎日ていねいに努力を重ねてまいります。ご家庭、地域のみなさまにお力をいただき、ともに創りあげていければと願っています。

第8回 児童・生徒による プレゼンテーション大会を開催しました

1月14日(土)、子供たちのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成することをねらいとして、第8回児童・生徒によるプレゼンテーション大会を開催しました。

ひの煉瓦ホール（日野市民会館大ホール）を会場に、小・中学校合わせて21校の代表の子供たちと、「被災地に学ぶ生きる力プロジェクト」に参加した中学生が発表しました。

各校ともICTを効果的に活用するとともに、聞き手を意識した発表方法を工夫するなど、自分たちの取組や学習したことを分かりやすく伝えてくれました。

◆『被災地に学ぶ生きる力プロジェクト』

宮城県気仙沼市を訪れ、被災地見学や気仙沼中学校との交流等を通して、感じたことや私たちにできることを考えて発表しました。

◆七生緑小学校

『障害者との触れ合いを通して』

ブラインドサッカー体験やアイマスク体験、点字を打つ体験を通して、視覚障害者の方々とたくさん触れ合った体験から、考えたり、より詳しく調べたことを発表しました。

◆滝合小学校

『滝合まち自慢』

総合的な学習の時間に行った「滝合まち自慢」の活動の中で、気付いたことや考えたことを、取材で撮影した写真や活動の様子、イラストなどを見せながら発表しました。

◆日野第三小学校

『日野大好きプロジェクト』

自分たちの暮らす環境を守るため「梨」「カイコのひみつ」「ふるさとの環境をよくしよう」について調べました。

◆豊田小学校

『発見！　地域の宝』

自分たちが住む地域（豊田地区）の自慢できるところを調べ、追究したことで、新たな気付きが生まれ、"ふるさと豊田"を大切にし、他の人たちにも知ってもらいたい、大切にしていきたいという思いを伝えました。

◆平山小学校

『高めよう！平山の防災意識』

「生きぬく科」で学んでいることの紹介及び6年生が現在取り組んでいる地域の防災意識を高めるための「まちづくりプロジェクト」の途中経過を発表しました。

◆日野第四小学校

『ニューモーターブランド～未来の自動車開発～』

自動車会社から、新車（未来の自動車）を提案しました。社会科や国語科で学習したことを生かし、自分たちで決めたテーマについて、大勢の人たちに提案したいことが伝わるように発表しました。

◆潤徳小学校

『オリンピックについて』

「2020年東京オリンピック」「オリンピックのメダル」「オリンピックの原点・歴史」について、調べたことをまとめました。

◆平山中学校

『職場体験』

八百屋、保育園、医療機器販売での職場体験を基に、感じたことや考えたことを発表しました。

◆三沢中学校

『職場体験ポスターセッション』

日野警察署や飲食店での職場体験で、学んだことや考えたことについて発表しました。

◆旭が丘小学校

『誰もが生きやすい社会を目指して』

だれもが生きやすい社会を目指して、障害のある方々の生活や、身近なユニバーサルデザインについて調べた内容を発表しました。

◆日野第八小学校

『わたしたちの地域の災害とそれを防ぐ取り組み』

自分たちの地域ではどのような災害の発生が予想されるのか調べ、自分たちができることを発表しました。

◆日野第七小学校

『ふれあいホールのユニバーサルデザインについて』

ふれあいホールを見学し、設備などのユニバーサルデザインについて詳しく調べたことを発表しました。

◆日野第一小学校

『日野市の自然、環境を守るために私たちができること』

ごみを減らすために自分たちができること、川の自然（水と生き物）の保全、これからやっていくことについて発表しました。

◆日野第五小学校

『夢』

10歳という節目の年を迎える4年生が、3学期に「2分の1成人式」を行います。それにあたって、将来の夢について考えた内容を発表しました。

◆夢が丘小学校

『広げよう　夢小の読書ワールド』

年3回実施している読書週間（春、夏、秋）での図書委員会発表集会の内容を発表しました。

◆東光寺小学校

『日本の伝統文化』

日本の伝統文化の中から、「和菓子」「和服」「生け花」「落語」「百人一首」をテーマに、発表しました。

◆南平小学校

『すずかけ米大作戦（稲作体験）』

校内の水田で栽培した「すずかけ米」の稲作体験や地域の農家の方との交流について発表しました。

◆日野第六小学校

『郷土の歴史と開発』

「日野市の祭り」「多摩平の森のマンション・団地」の開発の歴史について調べ、発表しました。

◆仲田小学校

『水田学習プロジェクトについて』

自分たちが見て聞いて肌で感じた「稲作体験」や「米の食べ比べ体験」のことや、インターネットで調べたことについて発表しました。

◆日野第三中学校

『日本の伝統文化の継承～校外学習の取り組み～』

校外学習での体験活動により日本の伝統文化の継承について学んだこと、考えたことを生徒会役員が発表しました。

◆日野第一中学校

『ボランティア活動について』

今年度のボランティア活動を通して学んだことを、今後にどう生かしていくかを発表しました。

自分たちで決めたテーマについて、大きな舞台で大勢の人たちに向けて発表できたことで、子供たちは達成感を味わい、自信を付けたことと思います。

伝える力を高めることに加え、様々な発表から学び合う貴重な体験にもなりました。参加していただいた学校、保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。

（学校課）

ひらこう世界へ…
世界へ向けて大きく羽ばたく「ひのっ子」
～中学生国内留学体験を終えて～

12月26日、東北新幹線とバスを乗り継ぎ、市内中学校の生徒20名が、福島県岩瀬郡天栄村にある「ブリティッシュヒルズ」を訪れ、2泊3日の国内留学体験を行いました。「ブリティシュヒルズ」は、疑似体験型の国際研修施設です。スタッフは、外国人講師をはじめとして、日本人もみな英語で会話をします。中世の英国の建物に囲まれた町並みの中で、異文化体験をしながら、参加した生徒たちは、英語によるコミュニケーションを行う機会をたくさん得ることができました。

この国内留学体験は、日野市教育委員会と東京日野ロータリークラブとの共催で実施している事業で、今年度で14回目を迎えました。日野市教育委員会の教育目標の一つ「ひらこう世界へ」には、ふるさと日野を愛するとともに、視野を地球全体へと大きく広げ、世界に向けて羽ばたいてほしいという願いが込められています。

様々なことを柔軟に受け止めて吸収できる時期にある中学生にとって、この国内留学体験は、自分の未来を切りひらく力を身に付けるための有意義な学習となることが期待されています。英語によるコミュニケーションやスピーチを通して豊かな表現力を高めるとともに、異文化体験を通して広い視野で物事を考える国際感覚を養うことを目的としています。また、日野市の中学生の代表として、自ら考え、行動することで、世界を舞台に活躍しようとする気持ちや、リーダーシップを育てる機会にもなると考えています。

3日間の研修プログラムは、パスポートを持って英語での入国審査を受けることから始まりました。その後、ゲーム形式、ロールプレイ形式、お菓子の調理やテーブルマナーなど、様々なレッスンを受講しました。どのレッスンにおいても、しっかり聞くことと自分の意思を英語で伝えることを学びました。はじめは緊張していた生徒も、自分の伝えたいことを言葉にして話すことで、外国人講師に伝わることが実感できると、次第に自分から英語によるコミュニケーションを楽しむ姿が見られるようになりました。

また、外国人スタッフの皆さんの温かな励ましにより、間違いを恐れずに英語で話すことに慣れていきました。

この3日間で生徒たちは、英語によるコミュニケーションの楽しさを知り、もっと英語で話せるようになりたい、外国の文化や習慣を実際に確かめたいという思いを強くしたことと思います。そして、一緒に参加した仲間や、「ブリティッシュヒルズ」の人々との交流は、かけがえのない体験となったはずです。

この中学生国内留学体験の実施に向けて、ご尽力いただきました東京日野ロータリークラブ、日野市立中学校の先生方をはじめ、多くの皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

（学校課）

ひのっ子がんばってます

日野第一小学校
充実した2年生の栽培活動

2年生は生活科の学習で栽培活動に取り組みました。1学期には地域の田倉到さんから土作りの方法から学び、トマトやキュウリ、ナスなどの野菜を育てました。自分で作った野菜の味は特別のようで、苦手を克服するきっかけになった子供もいます。2学期には配布苗菊花コンテストに挑戦しました。学校が休みの日も水やりをして、開花させることができたことから、教育委員会委員長賞を受賞いたしました。

豊田小学校
関東選抜空手道選手権大会で優勝！

11月3日「関東選抜POINT&K・O空手道選手権大会」に本校4年生の伊藤竜之介君が出場。決勝戦では延長戦を制し、見事優勝しました。今後、関東大会や全日本最強決定戦、全国大会に出場する予定です。武道を通し、気持ちの強さと人への優しさを学んでいます。

潤徳小学校
平成29年度愛鳥週間用ポスター原画東京都環境局長賞受賞

5年生の江戸優姫（えどゆうき）さんは優秀賞、4年生の山本啄郎（やまもとたくろう）くんは佳作をそれぞれ受賞しました。どちらの作品も個性が光り、力強さが感じられました。優秀賞の原画については、来年度の愛鳥週間用ポスターの候補となりますので、もしかしたら、たくさんの学校で、彼女の絵が貼りだされるかもしれません。

日野第八小学校
enjoy Street dance!

日野八小のダンスクラブは今年度16名の児童が在籍し、月曜日6校時のクラブ活動を楽しんでいます。11月12・13日に開催された日野市産業まつりのStreet&Dreamsコーナーで、10分間の時間をいただき、ダンスを楽しんできました。2学期前半のクラブ活動の回数が少ないため、練習は朝練習が中心です。いつもより少し早起きをして練習に集まった子供たちは、朝から元気にさわやかに、振り入れから、ダンス中の隊形移動、そしてみんなで合わせることまで、がんばりました。産業まつり当日終了後には「緊張したけど楽しかった。」「もっと踊りたい。」等、にこにこ顔の八小ダンスっ子でした。

演技中の八小ダンスっ子です

クラブ活動で集合写真を撮りました

日野第七小学校
さらに上を目指して

10月23日に行われた日野市民陸上競技大会6年女子100mで11年ぶりの大会新記録が出ました。大会記録を出した小俣彩音さんに感想を聞いたところ、うれしかったことやプログラムに名前と記録が残るのが楽しみだということ話してくれました。また、小俣彩音さんは、東京都小学校指定強化選手にも選ばれています。「練習は大変ですが、仲間の動きを参考に、今の自分より強くなりたいです。」と目標を語っていました。

決勝でのゴール

仲田小学校
人権メッセージ、日野市代表として発表

11月19日(土)、町田市で行われた「子供たちからの人権メッセージ発表会」に日野市の代表として仲田小学校6年生の中村仁人君が『高齢者の暮らし』というテーマで発表しました。「祖父母と一緒に暮らしている時、祖父母は困ることが多くあった。そんな祖父母に対して、自分でも何かできないかと考え、重い荷物を持ったり、優しく声を掛けたりと小さなことから始めていくことにした。また、祖父母の他にも高齢者の方々を助けていきたいが、一人で助けるのは難しい。みんなで協力していけたらいいなと思っている。」という思いを込めた発表を行いました。

日野第四中学校
「オータムデイキャンプin高尾」オヤジの会主催

11月26日晴天の中、高尾グリーンセンターで間伐体験やクラフトワークを行いました。

クリーン作戦

11月30日四中生徒会の呼びかけで多くの生徒が参加し四中周辺の清掃活動を行いました。

旭が丘中央公園で12月10日に行われた「たきび祭」に四中生ボランティアで参加。

吹奏楽部が出演し最後は吹奏楽部の伴奏で「たきび」を歌いました。

学校課

第8回中学生「東京駅伝」大会代表選手決定

2月5日(日)第8回中学生「東京駅伝」大会が調布市にある味の素スタジアムにて開催されます。日野市の中学校2年生の代表選手が、男子17区、女子16区を、日野市の襷を受け継いで走ります。

代表選手は、12月3日に開催した日野市民ロードレース大会の記録を基に選びました。補員も含めて、男子21名、女子21名、総勢42名のチームの誕生です。

12月10日、第1回合同練習を市民陸上競技場で行いました。12月17日には、第3回合同練習の後に、結団式を行い、チーム日野の団結を強めました。

ひのっ子の代表としての誇りと自覚をもって一人一人が自分のもてる力を発揮して、力強く走ります。皆様の応援をどうぞよろしくお願いいたします。

教育センター

平成28年度 日野市立教育センター 活動報告・調査研究事業の発表会を実施します。

教育センターでは、日野市の教育課題に対応する研究や研修、教員の指導力向上のための研修、若手教員の授業観察・指導・助言、適応指導教室等を行っております。

本年度は、理科教育や郷土教育の調査研究事業の発表、教員研修やわかば教室（適応指導教室）、登校支援状況等についての報告を実施いたします。

教育関係者のみなさま、ぜひ、ご参加を

日時 平成29年2月21日(火)午後2時15分から午後4時45分まで

会場 教育センター講堂（3階）

活動報告・発表内容

○ 平成28年度教員研修について（報告）

○ 平成28年度わかば教室について（報告）

○ 平成28年度適応指導状況について（報告）

○ 平成28年度理科教育推進研究について（発表）

○ 平成28年度郷土教育推進研究について（発表）

問 教育センター（☎592・0505）

大学や企業と連携して最先端技術を活用して理数授業特別プログラムを実施しています。

市内小学校7校及び中学校3校で、大学や企業と連携した、理数の面白さや有用性を児童生徒に実感させるため「理数授業特別プログラム」を行っています。内容は、電子顕微鏡を使って昆虫や植物の観察を行うもの、ロボットを使った実験やコンピュータのプログラミング等どれも普段接することのない先端技術に触れる授業です。

＝暗号のしくみについて考えよう＝10月13日(木) 委託先：国立東京工業高等専門学校

少し難しいようで、興味もそそられる授業の題です。平山小学校の4年生を対象に実施しました。

「暗号って何だろう」との問いかけから吉本定伸先生のお話がはじまりました。手紙やテレビ番組に隠された暗号を知ることで、子供たちは益々興味を高めていきました。

暗号文は、「平文」を「カギ」を使って作り、カギを使って元の「平文」に戻します。その仕組みを知るため、カエサルの暗号表を使って暗号文を作り、読み解く練習をしました。

いよいよ暗号器（紙筒）作りです。作るのは暗号の基本・古くから使われていた「カエサル・ヴィジュネル暗号器」です。

出来上がった暗号器で暗号作りです。鍵の番号を矢印に合わせて先生が例に出した言葉を暗号にしました。その後、二人一組でお互いに暗号文を作り、友達に解読してもらいました。友達から渡された暗号文を解読しようと暗号器の紙筒を必死に回していました。「できた」と嬉しそうな声も聞こえました。「友達との約束に使えるね。」と、楽しそうでした。

最後に、暗号はインターネットなどで大切な用件を伝えたり、重要なことを保存しておくために使われたりします。その暗号を解読しようとするとスーパーコンピュータでも何千年もかかるのもあるとのことでした。

子供たちからは、「簡単だった」「面白かった」「難しかった」「もっと難しい暗号を知りたい」といった感想が聞かれました。

問 教育センター（☎592・0505）

学校課

算数大好きプロジェクト 帝京大学 廣田敬一先生による「小学生土曜算数教室」

小学校6年生が論理的に考える力を高める算数の問題に挑戦しました。

廣田敬一先生による進行

土曜算数教室は、子供たちが算数の問題をじっくりと考えて解決する喜びを味わい、論理的に考える力を高めてほしいと願い、平成23年度から始まった教育委員会の事業です。今年で6年目を迎えました。

今年度も、市内から抽選で選ばれた6年生60名が参加し、4月から12月までの10回にわたって開催されました。

帝京大学客員教授の廣田敬一先生による授業は、毎回、試行錯誤しながらじっくりと考えたり、友達の考えを聞いたりしながら解決方法を発見するスタイルで、子供達は算数を学ぶ楽しさを体験することができました。スタッフは市内外の教員と都内の大学生で、子供達の支援や運営に携わっています。スタッフも算数の学習に活かしたいと、ボランティアで参加しています。

12月10日(土)には、今年度の最後の算数教室と閉講式を行い、受講者を代表して5名が感想を発表しました。

私は土曜算数教室に参加して、算数の基本が分かりました。少し手ごたえのある問題を時間をかけて解いたからだと思います。例えば「法則を見付けるときは、問題をなるべくシンプルにして表などにまとめるといい」ということが分かりました。これは算数教室の問題すべてにあてはまりました。

問題を解いた時の喜びや達成感は、手ごたえのある問題を考えれば考えるほどあると思います。この経験を、これから先の勉強などに生かしていきたいと思います。

（日野第三小　高原　心春さん）

私は、土曜算数教室に参加できて、この授業はとっても楽しいなと思った理由が二つあります。第一に、新しい知識が楽しく増やせたというところです。廣田先生の教え方がよかったので、知識がスラスラ頭の中に入ってきました。

第二に、友達と協力してできたというところです。算数教室では、友達と「どうすればいいか」と考え、協力して解くということが多く、他の人の意見も聞けたため、新しい知識がどんどん増えていきました。

（滝合小　勝山　萌夏さん）

ぼくは、この土曜算数教室に参加して、算数はこんなに面白いんだということに気付きました。例えば、テープカットとか倍数の決まりなどはけっこう身近な場所で使うのでじっくり考え、とても楽しかったです。そして、そこで分かった決まりなどを覚えておけば役に立つと思いました。

また、調べて終わりではなく、次に条件を変えて課題をやってみることで、また新しい決まりを見付けられることも学びました。

（日野第六小　内海　蓮さん）

私がこの土曜算数教室に参加して学んだことは、問題が解けた時に、なぜ解けたか、を考えるということです。

例えば公式を習った時になぜその公式になるのかを考えることや、図形の展開図を頭の中で考えることです。そうすることで最後まで理解し、次の問題が分かりやすくなります。

また、表にして書くことで、比例しているかどうかが分かったり、どこがどうなったらその数になるかということが分かりました。時には公式が見つかったりしました。土曜算数教室に参加して、私はもっと算数が好きになりました。

（仲田小　竹内　美咲さん）

私が土曜算数教室に参加して、一番勉強になったと思うのは、規則性を見つけ出す力がついたことです。土曜算数教室では、提示された問題の規則性を探し、その規則性が成り立っているかを調べます。

私は、規則性を見付ける問題が苦手で、テストなどに規則性を見付ける問題が出るといつも解けないでいましたが、土曜算数教室へ行くようになってから、規則性の問題の解ける割合が増えました。今後も、土曜算数教室で学んだことを生かしていきたいです。

（日野第五小　西原　凛奈さん）

教育支援課

特別支援教育『就学・進学支援シート』の活用を

○就学・進学支援シートは、平成29年度に小学校や中学校に就学・進学する特別な支援が必要なお子さんを対象にしています。対象になるお子さんの発達面、人とのかかわり方の特性、園や学校で進めてきた指導内容等について、「就学支援シート」・「進学支援シート」を用いて、小学校や中学校に引き継ぎをするものです。

○引き継いだ小学校や中学校では、支援シートに書かれた内容を基に新年度に向けてお子さんにとってより適切な学校生活の環境を整えるよう配慮いたします。

○「就学・進学支援シート」は電子データで「かしのきシート（0～18歳のお子さまが受けた支援内容を管理）」とともに管理されます。

○「就学・進学支援シート」の作成をご希望される保護者は、在籍している幼稚園・保育園、小学校などへご相談ください。

○シートに関する相談・問合わせはエール（発達・教育支援センター）☎589・8877までご連絡ください。

情緒障害等通級指導学級の開設について

小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒の一部は、市内の学校に設置された「情緒障害等通級指導学級（特別支援教室）」に通い、特性に応じた特別な指導を受けています。

中学校では、既に日野第三中学校に「情緒障害等通級指導学級」を設置していますが、平成29年度より日野第二中学校にも設置します。合わせて、東京都特別支援教室モデル事業により、前述の2校を拠点校にして、他の中学校への巡回指導を実施し、対象生徒が在籍中学校で特別な指導を受けられるようにします。

なお、情緒障害等通級指導学級（特別支援教室）で指導を受けるには、手続きが必要です。詳しくは、在籍学校及び教育支援課までご相談ください。

問 教育支援課（エール（発達・教育支援センター）内：☎589・8877）

図書館

平成28年度日野市立図書館子ども読書活動推進事業「見たい！聞きたい！作家の素顔　初野晴さん講演会」を開催しました

各中学校からの代表生徒23名が企画した講演会を11月5日㈯、七生公会堂にて開催し、小学生から一般の方まで約150名の方にご参加いただきました。中学生による司会進行の下、初野晴さん講演・中学生の質問コーナー・会場からの質疑応答と、充実した2時間になりました。

～ロビーの展示～

ロビーには、初野晴さんの作品と中学生が作成したポップ・講演会の告知ポスターを展示し、講師の初野晴さんもご覧になり、たいへん喜んでくださいました。

～初野晴さん講演～

なぜ小説家になったのか、実際小説家の仕事や生活ってどんな様子なのか。また、インターネットでたくさんの情報がタダで得られる時代になぜ読書が必要なのか、など大変興味深いお話でした。

～中学生の質問コーナー～

講師のお話を聞くだけでなく、クイズ形式で初野さんに質問をしました。中学生らしい素朴な質問や会場参加型でよかったという感想もいただきました。

～中学生スタッフとの懇談会～

講演会終了後には、中学生が講師・初野晴さんと担当編集者を囲んで懇談会を行いました。進学や職業選択についての質問などにも真剣にアドバイスをいただき、中学生にとって貴重な体験となりました。

～今回の企画について～

中学生からは、本が好きな人が集まって楽しかった、また機会があればやってみたい、違う中学校の生徒と友達になれてよかったという感想が多くありました。

本と出あい、本を通じて人と出あう経験をこれからも重ねてほしいと願っています。

中央公民館

公民館で「学ぶ」ということ…

50周年を迎えた公民館。これを機に、いろいろな取り組みを行いました。中央公民館談話室・中庭等リニューアル（6月）、記念事業「お祝いの会」（7月）、記念講演会（9月）、公民館だより特集号（12月15日号広報ひのにて全戸配布）、そして、公民館50周年記念誌の編集・作成（3月完成）を進めているところです。

『生涯学ぶことは、好奇心が原動力です。』ジャーナリスト池上彰さんをお迎えして開催した「中央公民館開設50周年記念講演会」にて、お話しいただいた言葉です。学校での「学び」そして、大人になって、社会人になって、親になってからの「学び」、生涯学び続けることで、豊かな人生を「学び」から見つけてください。公民館は、「いつでも、どこでも、だれでも」子どもも大人もみんなの学びの場です。

中央公民館×子ども

今年度行った子ども対象事業

- 公民館スペシャル　棋士村山七段との「多面指し」挑戦
- 夏休み！小学生集まれ！わくわく学習術～ペットボトルロケット・影絵など
- 公民館で新聞づくり講座
- 日野用水で遊ぼう！
- ひのアートフェスティバル～これからのお楽しみ～
- ひのっ子シェフコンテスト（日野一中会場）2月5日開催
- 春休み！小学生集まれ！　わくわく学習術～
- 夢の車をつくろう「カーデザイン講座」（日野自動車㈱協力）など

中央公民館×おとな

成人事業、高齢者事業、ひの市民大学　などいろいろな講座を開催しています

～これからのお楽しみ～

- 大人の理科室　連続講座開催中
- 朗読サロンスペシャル　多摩平の森イオンホールで開催
- 新たな自分を発見!!からだあそびプロジェクト　連続講座
- ひの市民大学　日野囃子を踊ろう！　など

※詳しくは、公民館HP　広報ひの　でお知らせいたします。

生涯学習課

多摩川流域郷土芸能フェスティバル（12月4日㈰エコルマホール・9市村参加）日野市祭囃子（ばやし）連合会が出演

日野市を代表して「日野囃子保存会」の若者たちが演奏を披露しました。週3日練習を重ね、子どもたちから熟年層に渡る三世代の会員で構成される同保存会は地域ぐるみで伝統を守り育てています。笛や太鼓などの見事な演奏に加え、踊り手（おかめ、ひょっとこ、狐、獅子）が客席に下りて行って握手を求めるなど、客席と一体となった演奏に大きな拍手が沸き起こりました。

日野市で初の指定無形民俗文化財である「日野の祭ばやし」を多くの方に楽しんでいただきました。

旧蚕糸試験場日野桑園第1蚕室「桑ハウス」公開（11月13日）

日野市は9月に「桑ハウス」を「国有形登録文化財」への登録を目指し申請をし、地域の方々の参加を得て、保存活用計画の策定も進めています。

良質の桑と蚕の研究で国の近代化を支えた「桑ハウス」の文化財的・建築学的価値を市民の皆様に知っていただき、今後の修繕活用計画にも関心を持っていただくため「桑ハウス」の公開を行いました。785名の方にご覧いただきました。「左官としてこういう建物を作っていた」「自分の家でも蚕を飼っていてとても大事にしていた」「いい施設になるのを楽しみにしている」など、たくさんの感想を寄せていただきました。

家庭教育通信⑳「一緒に食事をするって、とても大切。」

子供にとって、食事は身体の健康だけでなく、心の成長にも深くかかわっています。家族一緒に食事をすることによって、家族のふれあい、食事のマナーなど社会性を深めることにもつながります。できるだけ家族そろっての食事を習慣にしましょう。

また、食事を一緒に「つくる」ことも大切です。自分の手で食事をつくることを通じて、食材や調理方法について学ぶことができます。また、家族のために食事をつくる喜びや達成感を実感することができます。

一緒に食べることを通じ、食に関する知識や豊かな心をはぐくんでいきましょう。

出典　文部科学省発行「家庭教育手帳」（生涯学習課）

文化スポーツ課

パフォーマンスキッズ・トーキョー発表公演観覧者募集！

「かえると一緒に宇宙にとびだせ！」

(C) 落田伸哉

子どもたちがダンスユニット・かえるPさんと一緒に創作した舞台作品を発表します。

日時 平成29年3月20日㈪　午後2時30分　開演
会場 ひの煉瓦ホール（日野市民会館）小ホール
入場料 無料※要申込み
申込方法 HP予約専用フォーム、あるいはファックスにて以下を記入し申込み。件名「ひの煉瓦ホール観覧希望」・代表者氏名（ふりがな）・人数（子供・大人の別）・代表者電話番号・ファックス番号。
※申込受付後1週間以内に申込確認の連絡あり。
主催 アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NPO法人芸術家と子どもたち、日野市市民会館文化事業協会
助成・協力 東京都
後援 日野市教育委員会
申込・問 NPO法人　芸術家と子どもたち☎03・5961・5737、FAX03・5961・5738
HP http://www.children-art.net/pkt/pkt_invite/または文化スポーツ課（問い合わせのみ）

『第6回日野市ロープジャンプ！小学生大会』が開催されます

「第6回日野市ロープジャンプ！小学生大会」が市内公立小学校参加のもと開催されます。

今回は45チーム児童数約1300人による熱戦が繰り広げられます。たくさんのご声援よろしくお願いいたします。

日時 2月25日㈯　午前9時20分～午後12時15分
会場 日野市市民の森ふれあいホール※駐車場は各学校に配布している駐車券をお持ちでないとご利用できません。
問 文化スポーツ課

みんなで泊まろう
八ヶ岳高原大成荘
まだまだ寒い日が続きますが、
雪の下では草花が芽吹く準備をしています。
小さな春を探しに出かけませんか・・？

ご予約・お問合せは、
フリーダイヤル0120-489-571（大成荘直通/9:00～19:00）
または、http://www.kousha.jp/へ
八ヶ岳高原大成荘　検索